



第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐって 平成18年9月19日
 講師/佐倉一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長
 樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長

第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日
 講師/久米えみさん ながのクラッセ会長
 樋口敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー

第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日
 講師/鷺沢幸一さん アスレながの事務局長
 室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事

第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日
 講師/清水隆史さん フォトグラファーほか
 常盤昭二さん CMディレクター

●わいがやサロンスペシャル
 スポーツによるコミュニティ再生 平成19年2月22日
 講師/二宮 清純さん スポーツジャーナリスト

第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日
 講師/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト

第6回 環境と街づくり
 ばていお大門・TOiGOの設計に参画して 平成19年4月23日
 講師/竜野泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長 [一級建築士]

第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日
 講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督

第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日
 講師/荻原健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト

第9回 トウガラシの尽きせぬ魅力/
 「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日
 講師/松島憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授

第10回 命のバトンを渡す「ピオトープ」/
 長野市をピオトープネットワークシティに 平成19年11月14日
 講師/松岡保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授

●わいがやサロンスペシャル
 長野・考/長野の明日を話そう 平成20年2月14日
 講師/中馬清福さん 信濃毎日新聞主筆

第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日
 講師/浜このみさん クッキング・コーディネーター

第12回 あなたのからだは「築何年」ですか? 平成20年7月14日
 講師/角本浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長

第13回 アメリカ生活で感じたあれこれ
 一変化に対して前向きになることの大切さ 平成20年8月19日
 講師/針谷友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)

第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日
 講師/水野守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長

第15回 長野パルセイロ ―優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日
 講師/バドゥ・ピエイラ監督、薩川了洋コーチ、貞富信宏キャプテン

第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日
 講師/町田良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事

第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日
 講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士

第18回 循環備蓄型の農業の実践
 ー宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みるー 平成21年6月3日
 講師/塩澤研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役

第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日
 講師/小出陽子さん (同)ふさっ子のお八起 代表/信州おやきブランド委員会 研究会リーダー

第20回 信州の伝統から生まれる食文化
 ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日
 講師/宮城恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋

第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日
 講師/志村雅由さん NPO法人 飯綱高原よっころしよ/代表理事

第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日
 講師/薩川了洋さん AC長野パルセイロ新監督

第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぼ〜 平成22年5月25日
 講師/石沢一男さん (有)田舎工房 代表取締役

第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日
 講師/新谷志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務

第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日
 講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属

第26回 Go to J へ、長野に ーいよいよ地域決勝大会!ー 平成22年10月25日
 講師/鈴木政一さん 長野パルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長

第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日
 講師/千村尚司さん 千村ブレイン代表 ソムリエ

第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日
 講師/川崎史郎さん フリーライター「アクティブ」主宰

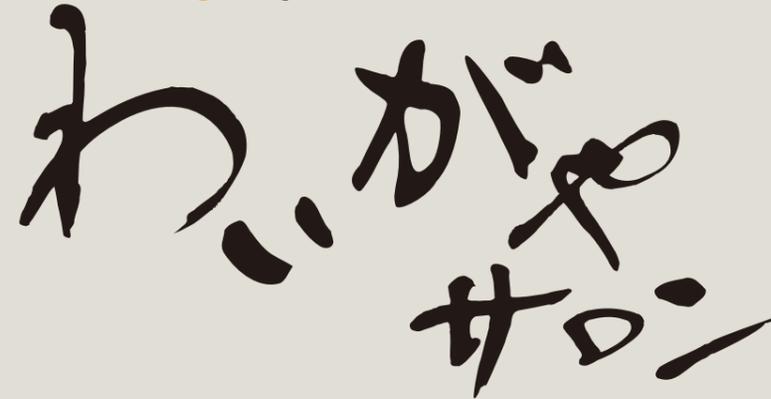
第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日
 講師/安藤長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)

第30回 江戸のエコロジスト 一茶 平成23年8月30日
 講師/マブソン青眼さん 俳人・比較文学者



NUPRI
 Nagano Urban Policy Research Institute
 NPO 法人 長野都市経営研究所

〒380-0834 長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
 TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
 www.nupri.or.jp
 e-mail: nupri@nupri.or.jp



通信

Vol. 31
 2011.10



江戸後期建築とみられる三原屋の土蔵・店舗(桜枝町)

NUPRI
 Nagano Urban Policy Research Institute
 NPO 法人 長野都市経営研究所

第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる。

平成23年9月28日(水) 18:00~20:00

講師／井上裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員

■座長 岩野 彰 場所／NUPRI事務所 TEL.026-235-7911



いのうえ ひろこ 東御市出身。信濃毎日新聞社に入社し、社会、経済、県政、文化部などを担当。論説委員を経て現職。県立こども病院のルポ「子守歌をうたいたい」にてファイザー医学記事大賞受賞。長野市在住

まごと2、3か月にわたって土曜日の「オピニオン」面に特集記事を掲載してきました。討論会に思ったように人が集まらないこともありましたが、「やってきてよかった」「ようやく定着してきたかな」と思うこの頃です。18回目になる今回は「買い物弱者支援」について話し合います。

輪になって話そう

「わいがやサロン」は長野市のまちづくりについて話し合う場と聞きましたので、昨春4月10日に開いた「古い街並み、元気にするには？」がテーマだった「Waの会」についてお話します。

当日のスケジュールは、善光寺大本願を会場にしたシンポジウム(大阪、長野などで古い家屋を活用し商店街活性化に取り組む人たちの話を聞く)→実際に街を歩く→分科会(門前で暮らすには/地域との関わり増やすには/歴史を生かすまちづくりとは)に分かれて、参加者が輪になって話し合おうというもの。この企画を進めるなかで私が腐心したのは、善光寺界隈に住み始めた新しい人たちだけで話すのではなく、元々の住民がどなたか出てきてくれないか、ということでした。実は、活性化に対するさまざまな取り組みが行われているにもかかわらず、新しい人に対する壁があり、その壁をなかなか越えられないのが長野なんですね。その思いを聞き入れて、長野市中央通り活性化連絡協議会副会長(当時)の工藤忠利さんがシンポジウムのパネリストを引き受けてくれることに。

前日まで申し込みが少なく心配しましたが、いざ蓋をあけたら大本願

厳しい残暑が続いた9月、ようやく秋日和となった日の宵は、長野県を代表する日刊新聞・信濃毎日新聞社が取り組んでいる地域討論会「Wa(輪・話・和)の会」をすすめている編集局地域活動部長の井上裕子さんをお招きし、「Waの会」のお話と、和の文化を生かすまちづくりの提案として、着物のお話をうかがいました。

Waの会

これまでの新聞は、取材して記事を読者に発信するという一方向になりがちだったという反省のもとに、取材以外のチャンネルで読者と接する場をつくろうと、信濃毎日新聞社が取り組んでいるのが地域討論会「Waの会」です。

2008年より、地域づくりや生活の見直しなどをテーマにする討論会を開き、告知から報告までテーマ



Waの会の討論会テーマ「古い街並み、元気にするには」の際のシンポジウム(H22.4.10/善光寺大本願)

の大広間に入りきらないほどの大盛況。町歩きでは、参加者から「門前にはこんなに面白いところがあったのか!」という声。Waの会を通じて親くなった人も多く、終了後の懇親会で「このまま会を終わらせたらいけないね」ということになって、その後参加者のメーリングリストや月1回の交流会が生まれました。その後も各地に見学に出かけたり、地区の祭りを手伝ったりしているそうです。

1回の討論会だけではテーマをすくいきれないのが悩みですが、「古い街並み、……」の回では「Waの会」がきっかけとなり、新たな活動やネットワークが生まれ、私とすればそれがいちばん嬉しい成果でした。

和の文化を生かすWa=着物

地域の皆さんやNPOの方々が善光寺門前町の情報発信をされているお陰で、善光寺界隈が楽しくなってきました。でも例えば、遠来の方を案内するときなど、いつも思うのですが、もうひとつ魅力がほしいと思いませんか。そんなわけで後半は、「着物」で歩けるまちづくりの提案です。

私は子どもの時から着物に憧れていて、30代になってから着物を着たくて茶道を始めました。着物を着ている人を見るとどう思いますか?[会場:粹/これからお茶会ですか?/女将・呉服屋さんかな?...]では、着物のイメージは?[会場:高い/ぜいたく...]そうです、確かに着物は高いものかもしれません。ところが7、8年位前から世の中に安いリサイクル着物やアンティークが始め、また直販やインターネットで手軽に手に入れられるようになりました(資料:おしゃれの選択肢の一つとして着物を楽しめる時代)。着物でお出かけすることがカッコイイと、東京で若い人たちに火がついて地方にも広がりつつあります。

私の趣味は着物。月1回「着物を着て集まりましょう」という気軽な食事会に参加しています。年齢も職業も違う、いわば異業種交流会ですが、ほかの場面でも着物好きということで知り合う友人がどんどん増えています。着物には人をひきつける力があると思います。

それでも興味があっても、あまり着ませんよね。なぜ? 着付けが出来ない。着て行く場所がない。手入れが大変。他人の目が気になる——これらの問題をクリアすればいいのです。今は着付けのDVDなどが出回っていますし、手入れもそれほど難しいことを専門家がもっと教えるべきです。他人の目は「皆で着ればこわくない」。そして、着て行く場所を作ればいいんです。最近、須坂、川越、神楽坂、京都など古い町並みの残る各地で着物を着るイベントが開かれ、「着物が好き」「着てみたい」という人を呼びこんでいます。楽しいことがあるなら、好きな人は遠くからでも足を延ばすものです。

長野は着物の似合うまち

長野市には善光寺というほかの地にはないものがあります。門前町だからこその精進料理も魅力のひとつです。その町にプラス着物! Waの会で「善光寺かわい 街歩き」をしてみて、長野は着物が似合うまちだと今更ながら思いました。着物イベントで須坂、松代を周遊することも考えられますね。着物にまつわるイベントが行われれば着物を着る人が増え、着物を着た人を見る機会が増えれば、潜在的に着たかった人も着るようになるでしょう。ワタクシ的にも嬉しい状況になるというわけで……まちづくりのヒントにさせていただければと思います。

「オピニオンのWaの会記事を読んでいて、もう一つ興味深く読めなかったのだが、今日の話を聞いて興味が湧いた」「長野というポイントでなく、須坂などをつないだ広域・エリアの輪(Wa)を考えていきたい」「まちづくりのキーワードは、これまで隠れていたごく一般の人たちの言葉にこそあると思うから、ぜひWa討論会を続けていってほしい」など感想が行きかうなか、聴講者全員から井上さんに「次においでくださるときは着物姿で!」の声。「みなさんも一緒に」と快諾をいただき、閉会となりました。



蔵の町・須坂には、日本有数の銘仙コレクションをもつ須坂クラシック美術館もあり、毎年「きもの日和」と称してさまざまなイベントを行っている(今年のポスターより)

